

## 議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和5年2月24日
部長	課長	課長補佐	係長	係員	記録者所属 市民生活部生活環境課環境対策係
					職・氏名 主任 田中 洋城 印

会議等の名称	令和4年度 東御市環境審議会委嘱式及び 第2回 東御市環境審議会	開催日時	令和5年2月22日 午後1時30分～午後2時45分
		場 所	中央公民館2階 学習室5
主催者(事務局)	東御市 市民生活部 生活環境課	司会者	環境対策係長 唐澤 真崇 (審議事項については会長)
出席者	<b>【委員】</b> 宮原 則子、山崎 勝年、新田 詔三、松田 弘、佐藤 芳明、後藤 通子、出浦 一、 荻原 猛、関 昌子、比田井 文子、白倉 淳  <b>【事務局】</b> 小松 信子、唐澤 真崇、宮尾 香、田中 洋城		
欠席者	射手 誠司、成山 喜枝、大坂 徳男、土屋 康二		

議 題	(議題) ・ 第2次東御市地球温暖化対策地域推進計画の見直しについて (審議)	(配布資料) ・ 別添のとおり
決定事項	答申内容は宮原会長にてとりまとめを行う。	
確認・検討事項	答申内容については以下の事項を盛り込む。 ・ 広報啓発活動については創意工夫を行うこと ・ 計画の進捗管理を毎年度行い、状況に応じて是正すること ・ 社会情勢等の変化により、計画の柔軟な修正を行うこと	
次回への検討事項	なし	
次回開催	(日時) 令和5年3月2日 (答申)	(場所) 公室

様式第4号（第21条関係）

討議内容及び経過	(発言者名)	
1 開会	事務局（唐澤）	（開会）
2 あいさつ	宮原会長	（会長あいさつ）
3 新委員の紹介	小松部長	（新委員の紹介及び委嘱書交付）
	松田委員	（自己紹介）
4 審議事項	宮原会長	それでは審議に移ります。（1）第2次東御市地球温暖化対策地域推進計画の見直しについて、①～④まで事務局より説明をお願いします。
	事務局（田中）	（別添資料に沿って説明）
	宮原会長	①二酸化炭素排出量・目標削減量の数値について質問、意見を伺う。
		（質問、意見なし）
	宮原会長	②前回会議における指摘事項に対する回答について、具体的な説明を願う。
	事務局（田中）	改定素案42-43ページに短期、長期目標それぞれに各施策毎の削減量の記載
		があります。普及啓発活動など、削減量を算出できないものはハイフンと
		表示しており、現計画では入り混じって表示されていたものを整列させま
		した。
	宮原会長	前回会議で市報のペーパーレス化について説明があったが、具体的にどう
		いう部分を削減していくのか。
	事務局（唐澤）	具体的には決まっておりますが、DX（デジタルトランスフォーメーション）と関連付け、
		できるところから進めていきたいと思えます。また、インターネットに詳
		しくない方への情報提供とのバランスを見ながら進めていきたいと思いま
		す。
	宮原会長	インターネット環境下でない方も考慮するようお願いする。
		他に質問、意見はあるか。
	新田委員	建物の新築、増改築時の断熱改修における国の補助金があるが、市として
		の対応はどうか。
	事務局（田中）	市では建物の新築、増改築における断熱改修等の補助金はありませんが、国
		では補助が手厚くなってきておりますので、市から市民の皆さんへ情報を周
		知することで普及していくと思われまますので、積極的な周知をしていきたく
		と考えます。
	事務局（唐澤）	補足ですが、国の補助金は何らかの条件を満たさないと出ないものがあり、
		例えば、二酸化炭素削減量がある程度必要であるなど、そのあたりにも触れ
		広報していきたいと考えます。
	比田井委員	地球温暖化対策を自分事として捉えられるかが重要である。一人がいくら頑
		張るより、千人の人が一歩頑張るほうが効果がある。行政として環境に関す
		ることを発信することや環境に関する講演会などを計画したらどうか。

討議内容及び経過	(発言者名)	
	事務局（唐澤）	どのように伝え、計画を広めていくかが課題であります。計画が策定されてからがスタートであり、環境に関する講演会などもやっていきたいと思います。
	松田委員	先ほど国の補助金について広報をやっていくという話だが、国の補助金申請はあっという間に締め切られてしまうことから、広報を行うのであれば、締め切られる前にお願いしたい。
	事務局（唐澤）	承知しました。
	宮原会長	③パブリックコメントの結果について質問、意見を伺う。
	佐藤委員	パブリックコメントを寄せた市民へ回答は行うのか。
	事務局（唐澤）	この結果はホームページや冊子となった際に、このまま回答が掲載されますので、そこで公開となります。個別の回答はしない旨をお伝えしております。
	佐藤委員	計画は冊子にして市民へ公開するのか。
	事務局（田中）	各地区公民館に製本したものを設置します。また、ホームページに掲載し、市民誰でも閲覧できるようにします。
	佐藤委員	せっかく苦勞して作った計画も市民の方に見ていただき、理解し、動いていただかないと意味がないと思う。家庭でできる取り組み（48ページ～）についてはわかりやすいため、これを別冊子にしたらどうか。
	事務局（唐澤）	いただいた意見を参考に、工夫した広報啓発活動を検討します。
	宮原会長	④今後のスケジュールについて質問、意見を伺う。
		(質問、意見なし)
		全体を通して何かあるか。
	比田井委員	太陽光発電については大事なことであるが、景観の面を考えると景観が悪くなることもあるため、市へ申請があった際には考慮してほしい。また、太陽光発電だけではなく、風力や水力といった発電方法に対して企業を応援する補助金なども検討してもらいたい。
	事務局（唐澤）	太陽光発電施設の設置については、市へ届出があった際には、近隣の住民の方と合意形成が図られているかなどを確認していきたいと思えます。また、補助金については今答えられませんが、企業を応援するということが重要であるため、今後研究していきたいと思えます。
	白倉委員	市には太陽光発電に関する条例があるが、設置自体を制限することは難しい。今回の計画は太陽光発電で二酸化炭素を削減していくというものであるため、折り合いをどう付けていくかが難しいと思う。

討議内容及び経過	(発言者名)	
	新田委員	地球温暖化について肌で感じないとなかなか行動しないと思う。そのあたりを子どもを通して伝えていくことが重要である。また電気と二酸化炭素の関係がわかる「エコワットアワーメーター」という機器などの周知をすれば、身近に地球温暖化を感じられるのではないか。
		(新田委員によるエコワットアワーメーターの説明)
	松田委員	松本市で小学生とその保護者で手作りのロケットストーブを作ったというニュースがあった。子どもが参加できるイベントも検討してもらいたい。
		(松田委員によるロケットストーブの説明)
	事務局（田中）	いただいたご意見を今後の参考といたします。
	宮原会長	続いて、⑤答申内容について令和4年12月15日に市長より諮問いただいたが本日の会議で答申内容を固めたいと思う。どのようにしたらよいのか皆さんの意見を伺う。 先ほど佐藤委員から出た周知広報活動について答申内容に盛り込めればよいと考える。
	事務局（唐澤）	わかりやすい広報等ということだけでいただければと思います。
	宮原会長	他にはどうか。
	後藤委員	小諸市で手をせず伐採したという報道があり、森林は大事と教育しているのとは裏腹に伐採されている。森林を伐採していくと災害の発生も懸念される。
	出浦委員	森林組合として伐採をした後、植林をしている。太陽光発電のための開発で伐採されているところもあるが、市や県で基準があり、保水などの水対策もされている。子どもたちへの木育などもできればよいと考える。
	事務局（田中）	伐採をしての太陽光発電施設の設置について、条例に基づく届出を義務付けてはおりますが、制限するということはできません。その中でも災害防止に努めていただくよう指導していきたいと思っております。再生可能エネルギーの普及と森林を守ることのバランスが重要であると考えており、安全な場所には景観を配慮したうえで設置いただき、適正な設置されるようにしていきたいと考えております。
	新田委員	環境教育に関することを入れたらどうか。
	宮原会長	施策として記載はあるか。
	事務局（田中）	改定素案32-33ページに「環境にやさしい学校づくり」と「環境学習の推進」という施策があります。
	宮原会長	要望として盛り込みたい。
		計画の進捗管理について、PDCAサイクルでの管理を盛り込みたい。また、国

